

今年、鶴彬生誕110年。

記念イベントが計画されています

昨年の様々なイベントから



「演劇 T・AKIRA」入口



「鶴彬墓碑建立」浄専寺にて(9/14)



白眞弓さんや乱鬼龍さんが関
わった『反戦川柳句集』が完成。
徹乗さんも寄稿。7頁に紹介。



「鶴彬忌句会」



全国から訪問者が絶えま
せん。嬉しい悲鳴。鶴彬
資料室にて。

今月
秀句

基地ノ一とガマの遺骨は春を待つ

中野林

沖縄の県民投票が全町村の参加で実施されることになった。関係者の英知に感謝。数あるガマの洞窟には遺骨が多く残されていると聞く。沖縄に春光が差すことを願う。(周)

例会案内

2月例会	2月25日(月)
投稿締切	23日(土)
課題「知」	3句以内
自由吟	5句以内
自選句、自解筆もぜひよろしく。	

◆ 目次	
川柳互選	
課題吟「遺」	2
自由吟	3
自選ノ連作	4
ほのぼの川柳／おたより	5
献句・追加分	8
プロレタリア文学運動の盲点	
考察 弾圧と拷問	9
現代の落首 大嘗祭考	11
シベリア抑留の記録④	
故・秋山茂氏の手記	13
報告・後記	16

「和」川柳社会報 六七六

定例会

二〇一九年一月二八日(月)

定例会 於…金沢市金石町

1月の 川柳互選

◆課題吟「遺」

(互選) 一人3句以内吐

1	戦争を遺失にしたい 戦犯者	広助	2	政官は 証拠を遺し 法も無視	広助
1	心残りたくさんあると書いておく	ダン吉	2	オリパラも万博すべて負の遺産	白眞弓
1	辺境の島だと遺棄をするように	ダン吉	3	平和憲法皆んなで相続してみたい	大峰
1	高校の怪談マジで骨しゃべる	白眞弓	3	汗の道選べと母が言うていた	ダン吉
1	デマ規制サンゴのデマが遺ってる	一角	3	安倍遺言昭恵逃げとおせ無言だぞ	和子
1	未解決抑留のこと誰もせず	一角	3	遺したい役人の闇隠し事	立東爺
1	痩せ過ぎて骨も肉も戻らない	大峰	3	安倍遺品ウソとペテンと金ザクザク	和子
1	壁一枚遺しアメリカ潰すのか	大峰	3	特攻の像に置かれた花と遺影	徹乗
2	鶴の遺志受けて初春のピラ配り	林	3	ガマの奥戦時下のまま骨晒す	亀公子
2	負の遺産役所にたくさん埋まつてる	立東爺	4	潮風に朽ちた米試射場の遺構	徹乗
2	安倍遺作信介乗り越えヒットラー	和子	4	銃剣の手ごたえ遺し戦後生き	立東爺
2	サンゴ遺せ 全て移植は 嘘と不義	宏	4	母の生き様愛と願いを子に遺す	未知子
2	五輪ではワイロ遺して民につけ	一角	4	遺さねば一に平和二に平和	未知子
2	軍艦島世界遺産になりそこね	白眞弓	4	信介の遺訓孫に引き継がれ	徹乗
			4	「九条」こそ 世界遺産に認定を!	宏
			4	負の遺産子には言われのない荷物	亀公子
			4	九条は 敗戦国の 遺言状	広助
			5	戦後史に名を遺そうと悪巧み	林

5 七〇年経ても遺恨の血が滲にじむ 亀公子
 9 基地ノーとガマの遺骨は春を待つ 林

◆自由吟 (互選) 一人5句以内吐

1 老いも障碍も夢ではないよMリーグ 未知子
 マインバー 定着しない 税の虫 広助
 安倍一味うその統計で経済不安 和子
 試されていたんだあの時のピンチ ダン吉
 金足りぬと原発輸出ギブアップ 和子
 統計の復元できんまたウソを 一角
 改憲を急ぐ安倍を包囲せよ 和子
 大英帝国基礎からガラガラ崩れ出し 大峰
 東京の次は万博ぼろ儲け 白眞弓
 高コスト原発終う早くない 和子
 平成は 平和の時代と 評価され 広助
 あり得るよブ(全停電)ラックアウトにホワイトも 宏
 1 壁と橋アメリカ内戦勃発中 立東爺

1 赤旗に白旗持つて「立ち向かう」 林
 1 ハンストにあびせる罵声馬耳東風 白眞弓
 1 虫食いが過ぎてボロボロ消費税 林
 1 何も言わぬ滲む涙に諭される ダン吉
 1 エリート公務員晋三みずから網を付け 大峰
 1 負ける人大歓迎です依存症 ダン吉
 1 世界の大嘘トランプ晋三とゴーン 大峰
 1 横綱は総理よりずっと潔い 一角
 1 右よりのメディア励ますファシスト 林
 1 子連れだが活躍せよと国はいい 一角
 1 人間の出来を問われているようだ ダン吉
 2 日本丸世界の評価急降下 未知子
 2 権益の保守民衆を踏みにじり 徹乗
 2 アベよいしよ以外のニュースない元旦 白眞弓
 2 ズドラステチェ言えて北方領土不可 白眞弓
 2 トップセールス原発世界中からキャンセル 大峰
 2 アベ総理 四島すらも 主権言えず 宏
 2 素晴らしい 個性が光る 身障者 広助

2	憲法に咬みつく番犬空騒ぎ	林
2	厚労省「統計」嘘偽 組織的	宏
2	万博や カジノ優先 利権・金	宏
2	ネコババもワイロも消せるフランス語	角
3	永田町タガがはずれて底が抜け	亀公子
3	丸太の言い分きく気なしの大資本	大峰
3	統計の不正また安倍への付度か	徹乗
3	最長の 景気謎です 税が来る	広助
3	ニタニタした安倍出たテレビ電源オフ	徹乗
3	賃上げに総理が旗振る怪春闘	立東爺
3	安倍憎し統計偽装で増税へ	和子
3	国売って安倍さん名前残したい	ダン吉
3	次の質問どうぞ言ってみたいな教室で	白眞弓
4	統計不正ふさがる暇なし開いた口	未知子
4	「象徴」の意地を見せるぞ慰霊旅	立東爺
4	去勢され雄叫び一つない春闘	亀公子
4	不可能をお金で買った五輪だね	一角
4	入管法 形を変えた「タコ部屋」だ	宏

4	年号が変わる平和の貌をして	亀公子
4	沖繩の 民意の評価 土砂の中	広助
4	米と露にペコペコ韓にでかい顔	徹乗
5	昔から元号みんな中国製	立東爺
5	外遊にうつつを抜かず確信犯	亀公子
6	脱退と嘘で始まる戦争禍	立東爺
6	沖繩に本土の冷たい風が吹く	徹乗
7	改憲を叫んで違憲の旗を振る	林
7	原発の死骸行く手に横たわる	亀公子

◆ 今月の
自選・連作

◆ 闘病句 白眞弓

柿一つ梢にありて老醜さらす
疲労感秘めて空っ風カラ元氣
渾身の気合いに慌て腫瘍去れ

◆ 自選句 中野林

煩惱を増やして迎えた七年目

ブレーキのきかない拍車で煽るアベ

戦後史にファシズムの嵐待機さす

戦後史に引つ張り出されるファシズム

原発は平和の国に似合わない

原発のセールスマンよサヨナラね

閣議にて次の元号でつち上げ

元号を総理が決める「民主主義」

NHKマイクに刻む「大本営」

政権と同居始めたNHK

◆投句 真人我

偽統計誰が信じる好景気

おたより

◆選句の数について 白眞弓さん

選句の数のことがありましたが、私は勝手に決まっている投句の数だけと思っていました。以前そのように伺いました。つまり、課題句は3句、

◆ほのぼの川柳 《投句歓迎》

親ならばみんな無料で修行です 神田 鯛

うっすらと白くなりけり道と髪 真人我

左義長もゴミ分別の波が寄せ 一角

有料でゴミ袋入りの供え物 一角

流行です看板娘マスクして 一角

あの人も走る車もメタボだね ひろ

生活川柳「ほのぼの川柳コーナー」を新設しました。投稿よろしく。(周)

自由は5句です。

選ぶのも勉強とっています。基本的に、記号、分かち書きは選びません(必然性がないと思うものの場合)。今回惜しいのがありました。

・入管法 形を変えた「タコ部屋」だこれ、カギかっこない方がずうっといいです。それに分かち書きだし……。

◆ 推敲について

遠田亀公子

※ 亀公子さんから、ハガキで投句が送られてきた後、「AX」が入りました。推敲について考えさせられましたので紹介します。(編集子)

前略 まだ間に合いそうなので、句の修正をお願いします。

『七〇年経ても遺恨の血の臭い』 ↓ 『遺恨の血の臭い』ではまだ不充だと思えます。「遺恨の血が滲む」にして下さい。時間が経つと何だか違和感が出て来るようでは句としていいものにならない証拠です。よろしく！ ご迷惑をおかけします。

◆ 「ポケットの水たまり」紹介 岩原茂明

川柳会の大先輩である、森中恵美子さん(全日本川柳協会常任幹事、番傘川柳本社副幹事長)が「ポケットの水たまり」を上梓されました。一見して、平易な句で気持ちがよくわかる我が意を得

たのでいくつか紹介します。

- ・小さくても女はお日さまになろう(内ポケットより)
- ・長生きをして戦争を嫌いぬく(外ポケットより、以下同)
- ・鶴彬をしのぶほのかに梅匂う
- ・君が代に立っている人座る人
- ・いくさを嫌うばらの香も百合の香も
- ・戦争反対妻を大事にする男
- ・壁の向うに共謀罪があるようだ
- ・子の背丈いくさをしない国で伸び
- ・戦争を知らぬ背丈を眩しがり
- ・はだしのゲンを生かして欲しいなと思う

『ポケットの水たまり』定価二〇〇円(税込)

◆ 岩佐ダン吉さんより

「演劇」どうやら再演になりそうです。決定次第、連絡します。選句の件ですが、◎の数は自句以外を対象、句数は会報「和」の編集の事情もあるの

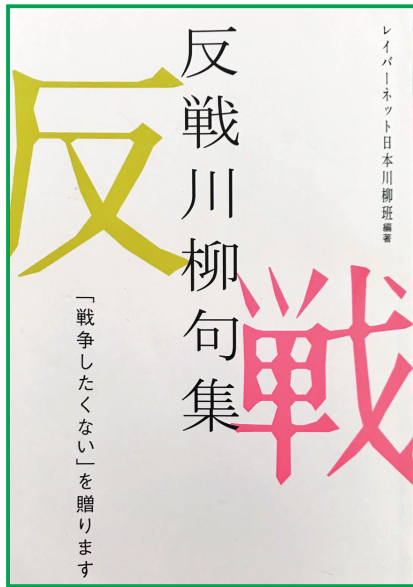
で、主催者で適当に指示をされたらと思います。(あ

かつきでは42・4%

『反戦川柳句集』

白眞弓さんや乱鬼龍さんが中心になって作られたレイバーネット川柳班の句集です。¥700.- ※

※ 割引もあるので、詳しくは別紙でご案内します。



第43回全日本川柳2019年浜松大会

日時 2019年6月16日(日) 午前9時開場
会場 アクティビティ浜松中ホール
〒430-1790 浜松市中区板屋町1-11-11
TEL 0533(4551) 11111

表彰
①文部科学大臣賞 ②参議院議長賞 ③川柳大賞
④大会賞 ⑤ジュニア部門は賞状とメダル
全日本川柳浜松大会実行委員長 今田 久帆

交通機関 JR「浜松駅」から東へ徒歩3分
主催 一般社団法人 全日本川柳協会
全日本川柳浜松大会実行委員会
後援 文化庁・静岡県・静岡県教育委員会・浜松市・浜松市教育委員会・静岡県文化協会・静岡新聞社・中日新聞東海本社

◎表彰式典「前夜祭」(案内)
◎表彰式典 2019年6月15日(土) 17時30分から
川柳文学賞・幼若者・大会連続参加者・平成御多留入賞者
大会連続参加者の表彰は自己申告のため日川協事務局まで申請してください。
◎前夜祭 表彰式典後、同一会場で開催
場内ホテルクラウンパレス浜松
〒430-0801 浜松市中区板屋町1-10-17
TEL 0533(4522) 51111

第一部 4月15日締切(当日消印有効)
事前投句 一般(高校生も含む) 部門
「富士」佐藤 清泉選 「光」久保原 望選
「菜器」小林信二郎選 「藤」小笠原 望選
事前投句 ジュニア(小・中学生) 部門
「風」滝山 哲也選 「走る」磯田 昭紀選
「揮子」陣水 祥昭選

参加費 八〇〇〇円(会費・アトラクション)
大会・前夜祭のお問い合わせ先
〒433-8105 浜松市北区三方原町1-7224-2
田中 恵子 方
TEL 0533(4336) 9123

専用紙のない方は2×16cmの句箋一枚に一句を記入各題(石印無題)封筒の裏面に住所・氏名明記。
投句料一、〇〇〇円(定額小為替・現金書留)を同封して左記宛に郵送または郵便振替口座へ送金のこと(当日消印有効)。小中高生は投句無料。
投句先 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-1-1 ステップイン南森町905 全日本川柳協会宛
TEL 06(5526)2210 FAX 06(5335)2243

大会・前夜祭の参加費の送金先 4月15日締切
郵便振替口座番号 00840191154813
全日本川柳浜松大会実行委員会宛
〒430-0801 浜松市中区板屋町1-10-17
シングル 12,000円
ダブル 10,500円
ホテルルートイン浜松駅東浜松市中区中央3-10-2 8,300円
シングル 6,300円
ダブル 5,300円
※宿泊の申し込みは専用の申込用紙に記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

講演 新発見!北斎と川柳
講師 十六代目 櫻木庵 尾藤 川柳様
宿題 第二部(当日投句・11時締切)
「さすがご漫遊」梅選 「道玄」村上 水香選
「走」西 美生子選

宿泊のご案内
宿泊(泊朝食付き)お一人様(税金サービス料込)
ホテルクラウンパレス浜松浜松市中区板屋町1-10-17
シングル 12,000円
ダブル 10,500円
ダイワロイネットホテル浜松浜松市中区旭町9-1
シングル 10,500円
ホテルルートイン浜松駅東浜松市中区中央3-10-2 8,300円
シングル 6,300円
ダブル 5,300円
※宿泊の申し込みは専用の申込用紙に記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

第二次選者 本田 智彦・天根 夢華・江畑 哲男
安藤 紀菜・石田 一郎
参加費他 四〇〇〇円
(参加費二、〇〇〇円・昼食 記念品二、〇〇〇円)

宿泊の申し込み、問い合わせ先
株式会社JTB 浜松支店 (担当)山田・林・和田
〒430-0934 浜松市中区笠原6-1-1 フォンビレッジプラザ
TEL 053(45)6981 FAX 053(45)0941
※宿泊のお申し込みは専用の申込用紙に記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

岩原茂明さんからの案内です。
上の冊子は「日川協」が最近作成した冊子。
三〇〇円。詳しくは岩原さんへ連絡を。

献句

偲ぶ会以降にいただいた
献句を紹介します。

・知者不言

つらぬきて君

星になる

さち女

(コメント) 知る者は言わず。あんまりいないタイプの知識人でした。その意味で風呂敷を広げた者の勝ち、という風潮を嗤っている人だったのかもしれません。ご冥福をお祈りします。

・小春日や

深き学びの

石川さん

土筆

(コメント) お会いすると、日向にいるような、気持ちがおほっこりする方でした。あのたたずまいはどこから来るものだったのかと考えています。

・水害の人災たりと泥に立ち

森一敏

(コメント) 病院に搬送した渡辺寛さんからの連絡を昨夜確認し、本日議会後に病院を訪ねましたが、既にお亡くなりになっていました。何とも残念無念です。病魔に侵されても、気丈に果敢に闘いながらも表現活動を止むことなく見事に生ききられたご生涯に深い敬意を捧げます。また、公文書管理などに深いご意見を頂いてきました。本当にありがとうございます。浅野川水害時には、一緒に現場検証に汗を流し、当局の無作為を追及されました。市民の意思表示の在り方を学びました。私どもの国際地方政府宣言起草ワーキングにも参加され、政策を深めて頂きました。深く刻まれたご縁を思いながら、心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌。

(2018/12/19記)

石川さん逝く

2018.12.19

・バイク便君の気吹きか春一番

淑女



プロレタリア文学運動の盲点 ④

考察 — 弾圧と拷問

周 立東爺

プロレタリア文学運動のことを調べている。鶴彬の作品と彼の死についてまずその時代背景を理解しようと思うからだ。当時一般文芸誌でも「文壇」を席卷していたのは、プロ運動の作家達だったと言われている。その中心として活躍していた小林多喜二は一九三三年、逮捕から一昼夜で拷問により惨殺されている(命日…2月21日)。この事件をきっかけにプロレタリア文学運動は急速に衰えていく。鶴彬の死の五年前の事件である。

悪名高い特高警察はなぜ悪名高いか。知られているように取り調べに「拷問」を使っている。

当時の「拷問」の様子は新聞には載らないので、

関連書籍を探さなければ分からない。一昨年の「共謀罪法」のとき、作家の保阪正康が共謀罪法問題で週刊誌に語っているのが最近では「拷問」を扱った文章だった。詳細は省かれているが、当時の拷問の様子の一端を知ることができる。以下引用。(「サンデー毎日」2017年6月)

平気で拷問できるのが「有能な刑事」

思想犯の取り調べにあたった元特高警察の刑事たち(複数)にも、昭和四十年代に話を聞いたのだが、あえてそのときのメモをそのまま以下に紹介したい。

「我々ヒラ刑事もアカ(注・共産主義者のこと)の見分け方などの教育を受けたんだが、そんなことよりも疑いのある団体の連中を引っぱってきて強引に調べれば大体は我々の思いどおりに自白するよ。強引に調べればの意味? あのころは拷問は当たり前。といつてもふつうの刑事はそんなに殴ったり蹴ったりできないよ。どこかで自制する気持ちもあるからね。しかしそんなことまったくかまわずに、女

性でも少年でも棒で殴る、道端に連れて行って叩きつける、小道具を使って痛めつける、細かくは言いたくないけどね。そして自白をとる。予審判事の覚えもよくなるから、そんな刑事ほど有能でできる奴となったね。戦後は復讐を恐れて姿を消した者もいる……」

こうした話を聞いていくと、特高警察の刑事たちの中では平気で拷問を続けることができるのが有能で、仕事のできる刑事、となるのだ。官僚機構の末端で、こうした汚れ役を担わされた拷問刑事は、思想犯として逮捕されるのを恐れている人たちや、やはり刑事仲間でも「超有名人」だったという。実際にこうした刑事に取り調べを受けた宗教家は、「おまえなんか非国民だから殺したっていいんだ」と言われ、その刑事のシナリオに合うように自白を強要されて拷問を受けたという。

「小柄な男で、ガラス玉のような感情のない目をしていて刑事で、その残酷さは有名でしたね」

そんな刑事たちは、T署のAとか、K署のBとかと、すぐに名指しされることに、私は驚いた。そう

いう刑事たちの名は、昭和二十年四月、五月から、警察署の名簿から消えていった。敗戦とともに、拷問を加えた容疑者たちからの復讐を恐れてのことという（戦後、実際にそういう刑事が探しだされて集団ですさまじいリンチを受けた事件が幾つかあったと証言する刑事もいる）。

和田は共産主義には批判的なクリスチャンだったが、特高刑事により治安維持法違反で逮捕されている。昭和十八年である。

その刑事は、「おまえは一日二十四時間のうち一分一秒でもいいから、共産主義はいいと思っただろう」と問われている。自分はこの思想には反対だということ、「そんなことはない。一分一秒でもいいから思ったことあるだろう」とあまりにも執拗しつようなので、「一秒ぐらいならあるかもしれない」と答えると、「それだよ。おまえは治安維持法違反なんだ」と言われた。この顛末を和田は戦後になって『灰色のユーモア』という書の中で明かしている。

治安維持法の容疑者として逮捕され、その後釈放された者たちが一様に語っている。戦争末期になると特高刑事たちは、そうした容疑者宅を回って、「俺



警視庁特高部長・安倍源基

はあんたを拷問していないよな。そのことを一筆書いてくれんか」と頼んで歩いたとのエピソードもある。

(周・追記) 一九三三年、小林多喜二を虐殺した現場最高責任者が警視庁特高部長・安倍源基とい

い、山口県出身。警視総監、内務大臣を歴任。戦後

A級戦犯容疑者の一人として逮捕されたが、東條英機ら七人の死刑執行の翌日・四八年一月二四日、

不起訴・釈放。その後、岸信介・木村篤太郎らと共に右翼の結集体『新日本協議会』を結成。代表理事

に就任、児玉誉士夫らとともにCIA協力メンバーと目され戦後日本政治の“陰”の存在として生き

た。文中の「T署のA」と

はこの安倍か？ 山口県の

現首相・安倍晋三とは姻戚

関係ありやなしや？

現代の落首

——大嘗祭考——

周立東翁

今年五月一日、改元される。新天皇が即位し、秋に大嘗祭が執り行われる。以前(1965)大嘗祭について『川柳人』誌に書いたものを再掲したい。

××××××××××

大嘗夜据え膳永すぎて早漏

×××

これは大嘗祭を詠んだ句であるが落首である。落首に共通するのは、その時代のタブーに触れたが故に文字にならず、埋もれてしまう作品である。思想表現の自由を保証されている現代でもタブーは生きている。菊タブーである。

今年(一九九〇年)、大嘗祭がとりおこなわれる。

昨年来、憲法の政教分離原則をめぐって国会でも質疑がなされたが、政府・自民党は国費の大浪費を決定した。しかし、国会の論議は大嘗祭に対する国費



大嘗祭の中心は深夜執り行われる秘儀

の使い方が中心で、大嘗祭とは何なのかまったく分からなかった。その理由の第一に、菊タブーがあるのは明らかであろう。追及する側（野党）も答弁側（政府）も「大嘗祭は宗教的色彩が強い」という認識の一致はあるものの、質問も答弁も抽象的であった。

戦前、天皇問題に触れることは不敬罪と治安維持法とで刑死を覚悟しなければならなかった。天皇制打倒を掲げた地下の共産党ですらも、そのスローガンは口頭で言い伝えたという。

大嘗祭とは何か

一般には「天皇が即位後、初めて行う新嘗祭。そ

の年の新穀を以て自ら天照大神および天神・地祇を祀る大礼で、神事の最大のもの」（広辞苑）といわれている。しかしこれは大嘗祭を外側からみた一面である。

古来、天皇即位から大嘗祭までの天皇は半天皇とよばれ、半天皇のまま死んだ「天皇」もいた。半天皇が天皇になる儀式が大嘗祭である。祭には神が必ず存在するのだが、日本における最大の祭であるこの大嘗祭だけは、不思議にも祀られる神は文献的に不明である。名だたる神々が神話に登場するが、大嘗祭の主役である神の名はない。

田中初夫は著書の中で、「残念ながらこの神の御名は文献資料をもってしては明らかにすることが出来ない。しかし、この神が大嘗祭の祭神の主神であることは疑いない」と述べる（「踐祚大嘗祭」木耳社）。

天皇の事を韓国語では日王、英語ではエンペラー（皇帝）という。しかし十六世紀、フランス国王

の統治権の正当性について王権神受説があるように皇帝は神とは違う。しかし日本の「天皇」の議論に「王権神受説」なる発想はない。

三笠宮崇仁は言う。「日本の皇位継承の諸儀式の中で最も重要なのが『おほにへのまつり（大嘗祭）』である。一般には……『神人共食儀礼』といわれている。……しかしそれだけではない。……この祭では……第一の神座は、ほのににぎのみこと、つまり『穀霊』が天から下るドラマの舞台だったと考えられるが……穀霊だけは言えない。神話でほのににぎのみことの子孫が日本の天皇となっているから、そこには『祖霊』が加わっていると思えるべきであり……新帝がそれを身につけるとこそ、即位の諸儀礼の中でもっとも重要だったにちがいない」（『踐祚大嘗祭』田中初夫著への序）。ここでは「大嘗祭とは天皇が穀霊と祖霊を身につける儀式」と指摘している。

（つづく）

シベリア抑留の記録

秋山茂

「在ソ三年 生と死のドラマ」

④

在ソ三年生と死のドラマ

故・秋山茂の手記

前回までのあらすじ

貨車で移動中、隊列から逃げる者が続出した。ソ連兵が人影に向かって発砲する。途中の駅で満鉄社員に妻子あての手紙を託した。「奉天満鉄社宅十八号秋山芳子殿」。停車する度に知らない駅名が次々と出て来る。翌年の四月二十九日、中隊長が天皇誕生日に国歌を歌い国旗を掲揚し遙拝式をやった。ソ連兵からファシステムと睨まれどこかに連れて行かれた。昂々駅で狩り出された市民から麻袋一杯の米がこっそり積み込まれた。北満鉄路に移って国境の町に着いた。

第二章 ソ連入り

われわれの列車が国境の町満州里を後にソ連領内に入ったのは一九四五年（昭和二十年）十二

月一日の午前十時頃で雪は降っていないけれども灰色にたれ込めた雲が空一面を覆い、前途の厳しさを暗示しているかのようであった。満州領内に居る間は割合賑やかだった車内もソ連領に入ってから静かになり誰の顔にも不安と動揺の色が濃くなった。「この先何処へ何時まで抑留され、どんな作業をするのだろうか？」という思いは同じだが誰にも判ろう筈はなかった。

列車は一路満目白まんもく一色のシベリヤの肱野を西へ

西へと走って居るらしく、覗き窓から見れば人家もなく寂寥たる肱野のところどころに灌木や白樺が叢生、これらが後へ後へと流れるように視界から消へてゆく。然し寒さが一段と烈しくなってきたことは車内でも感じられ、給水のため停車することがあっても連絡員が車外を怒鳴って行くだけ誰も外に出る者はない。此処まで来ると流石にソ連兵の監視もゆるく自由になった。こうして三日

※満目・見渡すかぎり

ばかり走り続けた後、列車はとある駅の側線に進入して停まった。と思う間もなく全員下車を命ぜられ、びつくりするほど寒い車外に降り立った。

中隊長からの連絡では「使役」とのことだが、「駅舎も見えない雪の野原で」と不審がるわれわれに知らされたのは附近の線路に何拾輛となく満鉄のマークのついた有蓋車や無蓋車が見られたがそれらの中には何れも満州から彼等のいう「占領物資」が満載されておりこれを百米も離れた倉庫に担いで運び込む作業であった。

然しこの荷役作業中、思わぬ出来事が起きた。

それは全員下車して空になった貨車にソ連兵が進入、めばしい物を持ち去るという日本人の常識では考えられないことで、更に又一人袋八〇キロからの麻袋入りの米を担いで百米近くも歩かされ倉庫に入れるのだが、大きな倉庫の入口は人間一人がやっと通れる程しか開かれず、両側に武装した三、四名のソ連兵が居り、肩に重くのし掛かる麻

袋を支える日本人の腕にした時計や胸のポケットの万年筆を片っ端から外して持ち去ってしまうのである。背後からは警備兵がベストトラベストラと追いつてるのでどうすることも出来ない。

私の車輛では車内監視を二名残したので車内の荷物の被害はなかったものの殆どの人は時計を盗られてしまった。

附近にソ連軍将校の姿を一人も見掛けなかったことを思えば、明らかにソ連人が計画的に仕組んだ作業で藤原大隊長が嚴重に抗議したものの捕虜の悲しさ、なんの反応もなくうやむやに終わってしまった。然しこのときのわれわれは日本人の「馬鹿正直」を痛感すると共に、ソ連人というものの実態をまざまざと見せられた。「盗ることをなんとも思わない」という第一印象はその後ますます濃くなった。この時、此処がチタ市の軍用引き込み線であることをソ連兵の口から知ることが出来た。

チタでの作業を終えた夕方列車は西北と思われ
る方向に走り出した。この頃から警戒もゆるみ扉
を開けても怒鳴ることはなかったが、寒さが一段
と厳しくとも開けておれるものではなく、車内
のストーブを頼りに単調な灌木の疎林や白樺、シ
ベリヤ唐松の生えた雪原を走っていた。また三日
ばかり経った朝、右側に大きな海のような湖が見
えはじめ列車は湖岸を西に向かつて走る。バイカ
ル湖である。

岸辺に打ち寄せる波は海と見間違うほど大きく
小粒の砂礫を敷きつめた岸、濃緑色の湖面の彼方
に大小いくつかの島が見え、その間を可也り大き
な汽船らしい船が二艘列車と反対の方向に移動し
て行く美しさは一服の絵のようである。私は目の
あたりに見るバイカル湖の景観に思わず「遙ろけ
くも来つるものかな」という言葉を思いだしてい
た。

(つづく)

次回は、第三章『抑留』

報告などいろいろ

◆昨年は、一九三八（昭和13）年、二九歳で没した鶴彬の没後八〇年を記念した様々な催しがありました。今年は鶴彬の生誕百十年になります。生地の高松、句碑のある盛岡、大阪、それに東京などの川柳結社で鶴彬の業績を伝える企画が取り組まれます。大阪では昨年「暁を抱いて」の演劇は大成功で、今年も再演が予定されています。

◆東京のレイバーネットで白眞弓さんや乱鬼龍さんも中心となって昨年完成した「反戦

2月例会のご案内（毎月第4月曜日）

◆2月25日（月） ◆夕切：23日（土）

◆課題「知」 3句以内 ◆自由吟：5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論、「ご意見などもお寄せ下さい。」 ◆会場：金沢市金石町にて

◆句報を持参下さい。例会で話し合います。

●投稿 FAX(076) 254-0762

●メールアドレスは下段へ。

郵送は
下段住所へ。

川柳句集」。寺内徹乗さんも寄稿しています。◆今年正月、白眞弓さんが金沢のご親戚を訪ねられた折り、立東爺、未知子の二人がお会いしました。初対面でしたが、意気投合。「連作／闘病句」などで心配でしたが、三時間があつという間に過ぎました。

編集後記

◆会報発行、大遅延で深謝申し上げます。実は立東爺・未知子が住む県営住宅で事件発生。住宅管理人兼町会長が重い認知症と事故で入院、退去することになり、我々二人が

後を継ぐことになりました。引き継ぎや総会準備で忙殺。編集作業に大影響となり遅れてしまいました。この住宅、高齢単身者が多数おられ、孤独死だけは出さないよう気づかいが続くことになりそうです。（編集子）

発送に協力いただいています。

◆《食育のグリーンノート&土の音工房・上村彰》《オカリナ制作》

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30（渡辺 寛）

電話 FAX：076-254-0762 PC-mail：kananabe@popolo.org

携帯：090-9445-1302 携帯 mail：kan-wata@i.softbank.jp

振込先：北國銀行中央市場支店 #191 普通 640「和川柳社」